



通し行進者の渡邊さん



今年も6月30日からの8日間、2012年国民平和大行進が大阪にやってきました。今年は、時おり強い雨が降る悪天候が続きましたが、「沿道からの反応は過去の行進とは全く違って、平和行進が根づいてきたことを感じました」と、笑顔で語る東京～広島コース通し行進者の渡邊正郎さん。河南コースでは延べ600人以上が参加するなど、例年よりも多くの参加者で大成功。北河内コースでは、子どもたちの平和への思い込められた笹かざりを持って歩く参加者もいました。参加者の年齢層も多彩で沿道からの声援もあり、盛り上がりました。

# NO! NUKES

## 核兵器も 原発も いらない!



大飯原発再稼働反対

6月16日、ついに野田政権は国民の世論を無視し、大飯原発3・4号機の再稼働を決めました。「再稼働反対!」の世論は大きく盛り上がり、6月29日の首相官邸前では、抗議デモの参加者が2万人と回を追うごとに増加しています。また、大阪市の関西電力本社前でも、毎週金曜日18時から抗議行動を行っており、「再稼働反対!」の声を上げています。

NUKES=核兵器、原発の略語

雨の合間をぬって「再!稼働!反対!」と繰り返しコールする声 (7月6日・関電本社前)



守口市職労 青年部

ひろた たかし  
弘田 敬之さん  
(都市整備部建築課)

しろやま ひろあき  
白山 泰敬さん  
(都市整備部建築課)

さいとう たつろう  
西東 辰朗さん  
(都市整備部道路課)

就職して1年経過、すっかり技術職らしく作業服姿が馴染んできた白山さん、西東さん、弘田さん(左から)

弘田さんは65周年記念ビッグツアー実行委員長、白山さんは事務局次長、そして西東さんは今年の役員選挙での青年部役員になり、ビッグツアーの企画をすすめています。昨年度採用の同期3人は、4月で就職して1年。6月の大阪自治労連青年部新歓パーティで、他の単組の仲間と久しぶりに出会い「あれから1年経ったことを改めて感じた」という3人。守口市職労青年部は現在250人余りの組合員がいます。職場で組合の組織率が高いのですが、職場によって組合員のつながりの強弱があり、大所帯なりの悩みもあります。

青年から熟年まで  
楽しめる企画に

ビッグツアーは青年もファミリーも熟年もそれぞれが楽しめるものにしたという思いで、各支部や機関で討議し

## 65周年ビッグツアーの企画は青年部におまかせ!

たことを実行委員会で議論していきました。会議では「信州がいいよ」や「北陸も捨てがたい」など意見続出。実行委員長として「どうまとめて決めたらいいのか」と悩んだ弘田さんでしたが、結局「香川」に決定。決め手となったのは、青年部が体験してみたいという思いで提案した「手打ちうどんづくり」。源平合戦の地・屋島を観光し、夜は琴平温泉でゆっくりお湯につかります。翌日は「手打ちうどん体験」。そして、大潮で鳴門の渦潮を見るには絶好のタイミングと、楽しめるポイントを設定。3月から始めた実行委員会、みんなで楽しく意見を話し合った結果です。

人との出会いふれ合う楽しみがあるからこそ、いろいろな企画を考えあえるのです。青年部の独自企画でも「春は新歓、夏はビヤパーティー、冬はクリスマスパーティーと次々楽しい企画をみんなで考えて、楽しんで1年経った」と白山さん。ビヤパーティーも青年部が企画して楽しんでいるのを見て、他の支部も企画するようになってきました。守口市職労の楽しい企画をどんどん推進しているのは青年部。青年部の勢いが、ひとりひとりの組合員の「絆」を強める要になっていきますよ!

65周年を迎えた守口市職労  
からの歴史をつくるのは僕らだ!

